

第 1 回 地域づくり部会 会議概要

日 時	令和 4 年 4 月 28 日 (木) 午後 3 時 00 分～午後 3 時 30 分
会 場	豊栄地区公民館 講堂
出席委員	神田委員、五十嵐委員、阿部委員、鶴巻委員、中嶋委員、本間委員 皆川 (英) 委員、清水委員、佐久間委員
欠席委員	横山委員、本間委員、皆川 (靖) 委員
事務局 関係課	落合建設課長、古寺北出張所長、 地域総務課 (中川補佐、伊藤主査、神田副主査)
会議要旨	<p>【議題①：パネル展の開催について】 資料のとおり開催日程と展示方法、区内公共施設への展示依頼などについて説明した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・説明事項については賛同。 ・自治会や自主防災組織への貸出しにも対応すべき。 ⇒活動の教科書となることも想定して作成したため、相談には応じる予定。 <p>【議題②：令和 4 年度の取り組みについて】 資料に基づき、3 年度の取り組み形式についての方向性の選択肢を示した。</p> <p>①単独開催 (3 年度同様)、②他事業への出展、③個別団体への出張</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3 年度は豊栄地区で開催したので、今年度は北地区で単独開催することでバランスがとれるのではないかと。実際、3 年度は北地区からの参加者は少なかった。 ・スーパーの駐車場でイベントをやっているのを見かけるが、そういったアプローチもいいのでは。 ・参加人数が少なかった、もっと周知に力をいれよう。 ・事前申込制は敷居が高い。ふらっと参加できる形式がいい。または電子での申し込みにすべき。 ・こらっせ松浜市など、いろんなイベントがあり、まだコロナの影響でイベントに飢えている。 ・イベントがいくつかあれば、何回か出展してもいいのでは。 ・屋外は天気によって左右される。屋内も検討した方がいい。 ・個別団体からの相談に出張するのはいいアイデア。 ・出展形式もいいが、防災啓発の色合いが薄れるのではないかと。事業目的の防災力の向上を踏まえれば、単独開催にも意義はある。 ・次回は宿題形式にして、事前に作業シートを送付して欲しい。 <p>今後は、本事業の目的をどこに設定するかの再度検討が必要。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災啓発、防災情報の伝達 もしくは、 ・より多くのひとが防災に触れるきっかけづくり <p style="text-align: right;">以上</p>

第 1 回 福祉教育部会会議概要

日 時	令和 4 年 4 月 28 日 (木) 午後 2 時 40 分～3 時 30 分
会 場	豊栄地区公民館 301・302 講座室
出席委員	清水(博)委員、神田(恭)委員、有田委員、樺山委員、斉藤委員、佐藤委員、横山(喜)委員、遠藤委員
欠席委員	本間(啓)委員、藤原委員 2 人
事 務 局	東理課長(地域総務課)、高山課長(健康福祉課)、渡辺館長(豊栄地区公民館)、上村教育支援センター長、佐藤(地域総務課)
内 容	<p>提案事業「子が育ち、大人が育つまちづくり」について概要を事務局より説明。</p> <p>提案事業実施について、対象、講座名、開催場所、講座内容など意見交換を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講座名は、「子が育ち、大人が元気なまちづくり」はどうか？おとなが元気になることでまちが活性化するのではないか。 ・参加したくなるようなキャッチフレーズが必要ではないか。 ・対象は具体的にどのくらいの年代を考えているのか(質問) (回答:遠藤委員):現役を退いた時のことを考えている人、あるいは退いた人(50代～70代) ・もぐっている人をどう出していくのか。その世代の人に情報を届けるのは難しい。<u>地域の茶の間</u>にいる人に広報し、地域でもぐっている人に伝えてもらえるようお願いするのはどうか。 ・老人会開催の<u>ウォーキング</u>なら男性もでてきている。 ・講師といっても、<u>偉い人ではなく身近でボランティアをやっている人やボランティア活動が活発な自治会から話を聞く</u>などしてはどうか。 <p>健康福祉課では保健師や児童館の職員、子どもの遊び場で活動している方などから話をしてもらえる。また、佐久間委員はマタナビであり、子育て支援に携わっている方なので、話ができるのではないか。また樺山委員も児童委員をしていただいております、活動をされているので適任ではないか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(健康福祉課)退職直後の方を見つけるのは本課でも頭を悩ませていたが、<u>国保の加入手続きに来る方</u>が該当するのではないかと思ひ、区民生活課に頼んで、チラシなどを渡してもらっている。それもひとつできるかもしれない。 ・学校でも、ボランティアの人が固定化していて課題になっていると思うので、そこに入っていけるようなきっかけが作れるといいのではない

かと思う。

- ・フレイル出前講座などで広報するのはどうか。
(健福)：年齢層が少し高いかもしれない。

【話し合い結果(ポイント)】

- ・講座名、キャッチフレーズをつけるなど、来たくなるようなものにしたらどうか。
- ・身近な人からの話を聞く(自治会、保健師、児童館職員、学校の地域教育コーディネーター、マタニティナビゲーター、子どもの遊び場の活動者 など)
- ・体験場所は身近な自治会のゴミ拾いから児童館、子どもの遊び場、学校 など様々な場所で。
- ・広報はなるべく地元の集まりなどの機会に行う?(地域の茶の間、地域のイベント(ウォーキングなど)など)もしくは、国保加入時に。

5月13日までにそれぞれ考えてもらい、意見を提出してもらおう。
次回それを集約し、具体的に内容を検討する。

第 1 回 自然文化部会 会議概要

日 時	令和 4 年 4 月 28 日（木曜） 午後 2 時 35 分～午後 3 時 10 分
会 場	豊栄地区公民館 視聴覚室
出席委員	伊藤部会長、渡邊副部会長、諏訪委員、小日向委員、前田委員、山賀委員、寺山委員、平松委員、本田委員
欠席委員	
事務局 関係課	産業振興課（横木課長）、区民生活課（高橋課長）、地域総務課（五十嵐課長補佐、深沢主査）
会議要旨	<p>○委員・事務局自己紹介</p> <p>○委員提案事業見直し案について 事務局が区自治協議会提案事業のスキームの改善案について説明した。 ＜主な意見等＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・継続したい事業もあるのでじっくり取り組める ・自分が何もわからず委員になったときに、計画があるのはやりやすい。（現状のメリット） ・1年目が調査研究の場合予算は少なくなるのか。 ・毎年事業実施・評価出来たメリットがある。他区実践情報と比較検討したい。 <p>部会として意見をまとめるのではなく、いろいろな意見をお聞きしたいので、下記の企画書の自由意見欄に記入して提出してもらおう事とした。</p> <p>○令和 4 年度事業の計画とスケジュール 同事業の計画について、事務局が説明した。また、事務局が作成したスケジュール（案）を確認した。 スケジュールについて…今年度は区ビジョン特別部会が 3 回（6.8.9 月）、専門部会の前に 1 時間程度開催されるため、タイトなスケジュールとなっている。また新型コロナの状況により書面開催も考えられる。このため、事業内容については、5 月中旬までに配布した企画書で提出してもらい、次回部会で検討することとした。</p>